第5回/オンライン

キャリアとジェンダー: ハンセンの4領域と統合

授業全体の目的

- ・男女共同参画社会について理解し、固定的性別役割分担意識およびアンコンシャス・バイアスの存在、影響について考察する
- ・キャリアをデザインするうえでジェンダーの視点をもつことの意義を理解したうえで、 仕事のみならず家庭・学習・余暇地域と含めた全体としてキャリアをとらえる

終了後の学生のイメージ

- ・固定的性別役割分担意識およびアンコンシャス・バイアスについて理解し、これにとらわれずキャリアを展望する態度を身につけている。
- ・就職・結婚等のライフイベントをとりまく状況・環境が男女により異なることをデータ に基づき理解している。
- ・ハンセンの理論を用いて、キャリアを「統合」的な視点から自らのキャリアをとらえることができるようになる。

進行の詳細

時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【講義形式5分】	導入		資料:双
	本日のねらい:キャリアを考える		六データ
	うえでジェンダーが関わることを		集、ワー
	理解したうえで「統合」の視点か		クシート
	らキャリアを考える。		
【講義形式 20	1. 男女共同参画社会とライフキ		
分】	ャリア		
	・社会が急速に変化するなかで個	スライド4、5	
	人の生き方も変わり、これまでの		
	価値観にとらわれずに生き方を考		

えていく必要があること、その価 値観の一つにジェンダーの問題が あることを説明する。

ワークシート【1】への回答 「夫は外で働き、妻は家庭を守る │ ワ ー ク シ ー ト べき」への考えについての選択 【1】への記入 肢・理由を回答させる。

スライド6

男女共同参画社会および阻害要因 スライド7、8 としての固定的性別役割分担意識 について説明する。

ステレオタイプに関わる心理: ステレオタイプに関する心理学の 知見①差異の強調効果:グループ に分けられるとグループ間の差は より大きく認知されること。

スライド9~12

②選択的認知:自分の信念に一致 する情報を選択的に取り入れるこ と。この1つとして「予言の自己 成就」(周囲が期待したように人 が成長すること。例えば教師があ る生徒を「学力が伸びる」と期待 することでその生徒の学力が実際 に伸びる結果になること。これは 教師のその生徒への関わり方が、 より期待の方向への変化を促すも のになることによるとされてい る) などの例を紹介する。

③ステレオタイプ脅威:ステレオ タイプが例えネガティブなもので

	あってもそこから外れることに脅		
	威を感じ、ステレオタイプに沿っ		
	た行動をとる傾向があること。以		
	上3点を紹介し、これを固定的性		
	別役割分担意識にあてはめた場合		
	の影響について考察を促す。		
	アンコンシャス・バイアスについ	スライド 13	
	て説明し、自らの気づきを促す。		
【講義形式 45	2. ライフイベントとジェンダー		・人生双
分】	~人生双六データ集から		六データ
うちワーク20分			集
	双六データ集 0 .性別役割意識、	スライド 15~17	・ワーク
	12-3. 男女格差ランキングか		シート
	ら、性別役割意識には反対する割		
	合が高いなか国際的にみて格差が		
	大きい現状について考察させる。		
	データ集からライフイベントに関	スライド 18〜24	
	するデータを取り上げ、ライフイ	ワークシート	
	ベントにおいて男女がおかれた状	[2]	
	況・特徴について考察させる。		
グループワーク	グループワーク:【2】を共有		
20分	し、男女共同参画社会におけるキ		
	ャリアの課題について話合わせ		
	る。		
【講義形式 20	3. これからの生き方=ライフキ		
分】	ヤリアを考える		4 領域シ
			ート、統
	Super のライフキャリアレインボ	スライド 26〜27	合シート
	ーから、生涯にわたる複数の役割		を参照
	の連なりとしてのライフキャリア		(今回シ

	について説明する。キャリアを長		ートの記
	期的輻輳的にとらえる視点を伝え		入は行わ
	る。		ないが後
			の回で実
	ハンセンの四領域の<統合>	スライド 28~33	施するた
	仕事、愛・家族、学習、余暇・地		めの視点
	域 4 領域の重なりからライフキャ		とする)
	リアへの理解を深めるとともに、		
	ジェンダーの視点から考察させ		
	る 。		
【講義形式 10	まとめ:ライフキャリアの「統	スライド 34	
分】	合」を新たな視点として、次回以		
	降のワークや共働き家庭での体験		
	において意識することを伝える。		
	次回についての説明		